

日本労働年鑑 第58集 1988年版  
The Labour Year Book of Japan 1988

第三部 労働組合の組織と運動

V 国際労働組合運動

2 国際労働組合の諸会議

4 その他の国際労働組合会議

教育と平和に関する国際会議

ギリシアの労働組合と、FISEの共催により、八七年五月一五～一七日、アテネで開催された。この会議には、三三カ国、五〇組織の代表が参加した。

会議では、(1)平和教育・平和活動における学校と教師の役割、(2)平和教育の方法と教育手段、(3)平和維持における労働組合と教員組織の役割などが論議された。

第六一回国際音楽家連盟執行委員会

八七年八月一〇～一二日、国際音楽家連盟(FIM)の執行委員会がスイスのチューリッヒで開催された。参加者は、オブザーバーをふくめて二〇人ほどであった。日本からは、執行委員として松本伸二、オブザーバーとして佐藤一晴両本部執行委員が参加した。

会議では、南アフリカ音楽家ユニオンの加盟問題をはじめ、映画用音楽の他国での収録、劇場におけるテープの使用、衛星放送に番組を提供する際の条件、若年層の組織化やシンセサイザー対策など、八六年の大会での決議をいかに実効あるものにしていくかについて論議がなされた。

【参考資料】(1)『自由労連通信』、(2)『世界労働組合運動』、(3)『世界労働情報』、(4)『ニュース化学エネルギー労協』、(5)『FIETニュースレター』、(6)『PTTIニュース』、(7)『IMF国際労働ニュース』、(8)『国際食品IUFニュース』、(9)『ニュース多国籍労組会議』、(10)『週刊労働ニュース』、(11)『全電通』、(12)『私鉄新聞』、(13)『繊維労連』、(14)『国鉄新聞』、(15)『船員しんぶん』、(16)『都市交』、(17)『ゼンセン新聞』、(18)『統一労組懇』、(19)『国公労連新聞』、(20)『全国金属』、(21)『全官公』、(22)『全通産新聞』、(23)『全林野新聞』、(24)『全建労』、(25)『世界の労働』、(26)『ぜんりんや』、(27)『JUC』、(28)『海員』、(29)『月刊TGU』、(30)『国公労調査時報』、(31)『婦人活動情報』、(32)『国際労働運動』、(33)『ヨーロッパ通信』、(34)『音楽ユニオン』、(35)『国際金属労連(IMF)中央委員会本部書記局報告』、(36)『中立労連第一四回定期大会一般経過報告(資料編)』、(37)金属労協『第二六回定期大会一般経過報告』、同『第三〇回協議委員会経過報告』、(38)『第七七回総評定期大会各局報告書(1)』、(39)『自治労第五二回定期大会一般経過報告書』、(40)全電通『一般経過報告書(二)』、(41)CEF・JAF『第一二回定期総会報告議案書』、(42)全日自労建設一般『第五一回定期大会議案』、(43)『第二一回FIET世界大会報告書』、(44)『第二一回FIET世界大会決議集』、(45)『世界労連第八回繊維・被服・皮革労働組合国際会議報告書』、(46)『第九回IMF世界造船会議報告書』、(47) Frashes from trade unions、(48) Free Labour World

発行 1988年6月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

\*\*\*\*年\*\*月\*\*日公開開始

---

■←前のページ 日本労働年鑑 1988年版(第58集)【目次】次のページ→■  
日本労働年鑑【総合案内】

---

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)

---